

2019年度
事業報告書

社会福祉法人十字の園
第2アドナイ館

軽費老人ホーム（ケアハウス）第2アドナイ館 2019年度事業報告書

I. 総括

A. 理念の継承、精神的基盤について

法人の理念に基づき事業運営を行うため、各事業所にローズンゲンと日めくりカレンダーを配布した。第2アドナイ館での礼拝は、近隣牧師、長老、信徒の方の協力のもと精神的（霊的）な糧をいただき、理念の実践に結び付けた。

B. 運営方針について

1. 浜松地区として一体的組織へ円滑に移行し、チームとして利用者のその人らしさを支える。
 - ・第2アドナイ館グループとしての一体化への取り組みは、在宅サービスを一つのグループとし1課2課に分けて管理をした。今までの施設ごとの関係から、在宅サービス課でまとまり連携を行う取り組みをした。在宅グループ1課2課共通の取組みとして、それぞれの事業所の特徴をお互いには発表する機会を設け、お互いがどのようにその人らしさを支えようとしているのかを知る機会とした。施設間では、相談員会議を開催し、各施設の状況と課題について共有し、その人らしい暮らしの場を提供するために協力して入退去支援を行った。
2. 各事業所間で積極的にコミュニケーションを図り、事業所間の連携を強化する。
 - ・在宅サービス会議、相談員会議を新たに開催し、各施設・事業所の管理者・担当者がコミュニケーションを図る機会を作った。居宅支援事業所では、アドナイ館でも事務作業ができるようにしてアドナイ館の職員と連携強化を図った。その事によりアドナイ館利用者の介護保険の新規利用のしやすさに繋がった。

II 事業計画の達成状況・実績

A. 各事業・職場の目標達成状況

1. ケアハウス

- ◎地域に向けた取り組みの継続と交流の機会を作る。
 - ・地域に向けた取り組みを継続し地域に知られることで、施設や事業を選んでいただき、待機者確保、利用者増に向けて取り組んだ。
 - ・浜松地区として総合見学会を実施。総合見学会の時にミニバザーを開催した。開催後施設へ入所申し込みがあり一定の効果があったと考える。
 - ・野点はクリストファー高校茶道部と交流を目的に企画したが、新型コロナウイルスの影響により中止した。
- ◎新しい組織体制の定着と円滑な移行
 - ・評価制度における面談の実施を行い新たに異動した職員と管理者がコミュニケーションを円滑に図れるようにした。ユニット会議で利用者と事業運営の話の両方を行っておりそれぞれに十分な話し合いの場が持てなかったため会議体の形を変更し取り組んだ。
- 2. トレーニング型デイサービス ぷらすワン
 - ◎「ぷらすワンらしさ」を地域に発信する。
 - ・地域で生活されている方の課題を把握するため、利用者アンケートを実施。地域の課題は移動支援が上げられ今後の支援に繋げていきたい。地域の体操教室等の活動依頼が今年度はなく未実施となった。
 - ・リハビリ定期便を発行することによって職員も利用者もトレーニングに対する知識を高めるよう取り組んだが、年間2回と当初予定の半分となった。
- 3. 十字の園 居宅支援事業所
 - ◎ケアマネージメントの質の向上を図り、信頼され選ばれる事業所を目指す
 - ・特定事業所加算算定事業所となったが、あんきの事業休止に伴い、ケアマネの異動が遅れ、加算算定期間が遅れた。特定事業所としても必要な内部研修体制を整え毎月行った。朝のミーティング時に各自の業務内容について確認し、業務を見直し効率化を図った。

・定期的に相談会を実施するよう企画したが、総合見学会と根洗荘祭りに限定された。

4. ヘルパーステーションほそえ

◎在宅生活を安心して継続して頂くために、利用者の声やお互いの気づきを共有する。

・職員間のミーティングの場で利用者の声や職員の気づきについて話し合いを行ったが振り返りの為の記録が不十分であった。ミーティングで得た内容についてはケアマネにも連絡をし共有を図った。

5. 認知症対応型通所介護 のんき

◎地域の方とご家族にのんきを知っていただく。

・機関紙の発行を定期的に行い家族、地域に知られる取り組みをした。行事の開催を家族・地域に案内したが、残念ながら参加はなかった。

6. げんきプロジェクト根洗荘

◎自立した生活が継続できるよう行事計画を充実し、精神面・体力面をサポートする。

・チラシを新しく作り、配布することで活動や取り組みを知って頂く工夫をした。長く通われている方が少しずつ減り、その分を補充できるほど新規利用にはつながっていない。
 ・居宅支援事業所と連携し、相談会の定期的な開催を企画したが、総合見学会と根洗荘祭りに留まった。
 ・利用者家族も含めた支援として、遠出又は旅行を計画し家族の参加を呼び掛けたが、家族の参加はなかった。利用者の遠出については、久能山に行く事ができた。

7. 小規模多機能型ホーム あんき

◎円滑に事業移行を行い、認知症デイサービスののんきと連携して事業継続を図る

・事業変更を行い認知症デイサービスとしての事業継続を図ったが、利用者人数の増加を見込めず事業継続を断念した。

8. 公益的取組目標

◎地域サロン（カフェ）、中学生体験実習、小学生との戦争体験交流

・地域サロンは開催できていない。中学生体験実習、小学生との戦争体験交流は実施した。

B. 利用実績

(職員数は 2019 年度末月現在の数とする)

	ケアハウス	地域密着型 特定施設	通所介護 ぷらすワン	認知症通所 介護のんき	根洗荘
利用定員	20 人	20 人	20 人	12 人	—
利用者延数	7,290 人	6,619 人	3,629 人	2,259 人	3,729 人
1 日平均利用者数	19.9 人	18.0 人	15.7 人	7.2 人	14.7 人
稼働率、稼働指数	99.6%	90.4%	78.7%	60.7%	—
稼働日数	366 日	366 日	230.5 日	310 日	253 日
単価（一人一日当たり）	8,382 円	7,016 円	5,827 円	11,830 円	2,455 円
老人福祉・介護保険事業収入	61,106 千円	46,440 千円	21,148 千円	26,726 千円	8,052 千円
職員数（常勤換算）	16.9 人		5.2 人	5.6 人	2.9 人
	小規模多機能 あんき	認知症通所 介護あんき	居宅介護 支援	訪問介護	事業活動 収入合計
利用定員	24 人/月	12 人	157.5 人/月	—	
利用者延数	39 人/月	380 人	1,565 人	6,144 回	
1 日平均利用者数	7.8 人/月	2.1 人	130.4 人/月	512.0 回/月	
稼働率、稼働指数	32.5%	17.8%	82.8%	—	
稼働日数	183 日	178 日	12 ヶ月	258 日	
単価（一人一日当たり）	203,435 円/月	11,773 円	14,417 円	3,847/回	
介護保険事業収入	7,934 千円	4,474 千円	22,564 千円	23,641 千円	225,157 千円
職員数（常勤換算）	3.7 人		5.0 人	4.8 人	44.1 人

*小規模多機能あんきは 8 月までの実績、認知症通所介護は 9 月からの実績を計上した。

C. 資金収支、財務状況

1 資金収支予算達成状況

(単位:千円、未満切り捨て)

(千円単位)	収入		支出		収支差額	
	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算	実績
事業活動による収支	257,229	225,157	251,942	255,450	5,287	△30,292
施設整備による収支	0	38,980	14,362	53,477	△14,362	△14,497
その他活動収支	16,489	53,680	7,040	13,063	9,449	40,616
当期資金収支					374	△4,173

(当初予算との増減差額が大きい要因)

- ・事業活動による収支：収入 32,071 千円減（各事業の利用実績が目標値に達しなかったため 40,427 千円減。入居一時金を長期預り金へ科目変更したため帳簿上 6,000 千円増。落雷被害への火災保険補填等により 1,217 千円増）。支出 3,508 千円増（3 月勤務実績を反映し 3,740 千円増、利用者源により給食費 1,489 千円減、修繕増 986 千円増）
- ・施設整備による収支：借入金借り換えにより収入支出共に 38,980 千円増
- ・その他の活動収支：収入 37,191 千円増（積立取崩 13,541 千円増、本部・浜松からの繰入 23,650 千円増）。支出 6,023 千円増（入居一時金を長期預り金積立へ振替し 6,000 千円増）

2 事業活動計算書の推移

(単位:千円、未満切り捨て)

	2019 年度	2018 年度	2017 年度	2016 年度	2015 年度
サービス活動収益計	217,679	279,562	252,516	256,660	235,477
サービス活動費用計	268,728	274,897	277,556	277,103	260,519
サービス活動増減差額	△51,048	4,664	△25,039	△17,442	△25,041
経常増減差額	△50,407	3,726	△26,460	△18,907	△26,544
特別増減差額	28,429	0	△81	0	52,591
当期活動増減差額	△21,977	3,726	△26,542	△18,907	26,046

(2018 年との差額が大きい要因)

- ・サービス活動収益計 61,883 千円減。要因：寄付金 29,614 千円減、介護事業収入 33,133 千円減
- ・サービス活動費用計 6,169 千円減。要因：人件費 2,643 千円減、事業費 2,367 千円減、事務費 4,428 千円増（修繕、PC 更新）、減価償却 2,032 千円減、国庫補助金特別積立金取崩額 3,534 千円減
- ・経常増減差額 50,407 千円減。要因：サービス活動増減差額が大きく減ったため。
- ・特別増減差額 28,429 千円増。要因：本部・浜松からの繰入 32,839 千円増。あんきスプリンクラ補助金返還 4,409 千円減

3 設備投資及び積立金の状況

- ・設備投資：サポート終了等のパソコン入替 1,363 千円、根洗荘豊表替え 105 千円
- ・その他：あんき補助金返還 4,409 千円
- ・積立金：施設整備等積立資産取崩 19,820 千円、修繕費積立資産取崩 600 千円
長期預り金積立資産支出 6,000 千円

4 借入金及び借入金償還の状況

- ・設備資金借入金収入 38,980 千円（借入金借り換えによる収入）
- ・設備資金借入金元金還 48,842 千円（内 借入金借り換えによる返還 38,980 千円）
- ・利息支出 833 千円、年度末残高 100,970 千円
- ・拠点区分間長期借入金返済 6,470 千円、年度末残高 112,660 千円

III. 対処すべき課題

- ・地区としての一体化を進め、理念・行動規範に沿った信頼し合えるチーム作りをする。

IV. 利用者の状況（2019年度）

1. 施設利用の状況			
区分		2019年	2018年
入居者数	男	2人	2人
	女	18人	18人
計		20人	20人
利用日数	男	325日	643日
	女	6,265日	6,250日
	計	6,956日	6,893日
平均入居期間	男	0.6年	1.5年
	女	2.8年	4.7年
計		2.6年	4.4年
最長入居期間	男	1.0年	2.8年
	女	9.6年	9.8年

区分		2019年	2018年
平均年齢	男	83.0歳	98.0歳
	女	89.3歳	88.6歳
	計	88.7歳	89.5歳
最高年齢	男	84歳	102歳
	女	98歳	102歳
最低年齢	男	82歳	93歳
	女	77歳	73歳
出身地域	圏内	20人	20人
	圏外	0人	0人
	県外	0人	0人
平均介護度		1.63	2.65

区分		2019年	2018年
入居者数	男	2人	2人
	女	18人	18人
計		20人	20人
退居者数	男	1人	2人
	女	8人	4人
計		9人	6人
入院者数	男	0人	3人
	女	7人	6人
計		7人	10人
入院日数	男	0日	70日
	女	125日	131日
計		125日	201日

入居者の介護度区分			入居前住居			退居者内訳		
区分	2019年	2018年	区分	2019年	2018年	区分	2019年	2018年
自立	1人	0人	自宅	3人	4人	死亡	6人	5人
要支援	0人	0人	病院	0人	0人	帰宅	0人	0人
要介護度1	11人	7人	老健施設	0人	0人	病院へ転出	0人	1人
要介護度2	5人	3人	療養型	0人	0人	他施設へ転出	3人	0人
要介護度3	2人	3人	グループホーム	0人	0人	その他	0人	0人
要介護度4	1人	4人	他施設	6人	2人			
要介護度5	0人	3人	合計	9人	6人			

2. 在宅サービスの状況

通所介護事業 (地域密着型) ぶらすワン	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2019年	2018年
	利用述人	297	337	278	312	305	288	345	302	305	291	266	307	3,633人	3,644人
月平均人	15.2	16.0	15.4	15.2	15.3	15.6	16.4	15.9	16.5	16.2	15.6	15.7	15.8人	15.8人	
開所日数	19.5	21.0	18.0	20.5	20.0	18.5	21.0	19.0	18.5	18.0	17.0	19.5	230.5日	231.0日	
通所介護事業 (認知症) のんき	利用述人	216	222	221	214	206	169	161	158	149	153	171	2,259人	2,270人	
月平均人	8.3	8.2	8.8	7.9	7.6	6.8	6.0	6.1	6.0	6.4	6.8	8.4	7.3人	7.6人	
開所日数	26.0	27.0	25.0	27.0	27.0	25.0	27.0	26.0	25.0	24.0	25.0	26.0	310日	300日	
通所介護事業 (認知症) あんき	利用述人						55	67	70	70	66	52	0	380人	
月平均人							2.2	2.5	2.7	2.7	2.8	2.2	0.0	2.5人	
開所日数							25.0	27.0	26.0	26.0	24.0	24.0	0.0	152日	
訪問介護事業所	訪問延回数	507	545	499	580	559	543	510	485	478	470	442	517	6,135回	6,450回
訪問延時	438	476	426	502	478	464	443	423	414	401	377	427	5,269時	5,370時	
在宅介護支援事業所	月作成件(介護)	111	110	114	109	114	116	115	110	110	106	102	106	1,323件	1,653件
月作成件(支援)	43	36	38	38	39	34	37	39	41	45	47	48	485件		
小規模多機能事業所	登録人数	10	9	7	8	5							39人	226人	
在宅支援自主事業 根洗荘	利用述人	300	314	304	316	333	314	340	314	306	297	296	295	3,729人	3,756人
月平均人	14.3	14.3	15.2	14.4	15.1	15.7	14.8	15.0	15.3	14.9	14.8	13.4	14.7人	15.1人	
開所日数	21.0	22.0	20.0	22.0	22.0	20.0	23.0	21.0	20.0	20.0	20.0	22.0	253日	249日	

V 職員の状況

職種	配置		男		女		就職異動入		退職異動出		比較増減		VI 寄付金収入		
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	区分	件数	寄付金額
施設長	1		1										入居者	1件	10,000円
事務員	1	1		1	1				1		-1		入居者家族	4件	40,000円
生活相談員	1		1										遺族	1件	500,000円
特定施設 入居者 生活 介護	1				1								在宅 一般	0件	0円
介護支援専門員	1												業者	0件	0円
介護職員	8	2	1		7	2	2		1		1		職員	3件	1,020,000円
看護職員	1				1		1		1				役員	0件	0円
機能訓練職員	1				1								合計	10件	1,590,000円
栄養士	1				1								その他寄付金収入		
調理師・員													寄付等雑収入	0件	0円
歯科衛生士		1				1							寄付物品	0件	0円
その他		1				1				1		-1			
小計	15	5	3	1	12	4	3	0	3	1	0	-1			
在宅部門	3	3	1		2	3		1		1					
地域密着通所	2	8	1	2	1	6			1			-1			
認知症通所	3	6		1	3	5	1		5	2		-4	-2		
小規模ホーム	5		3		2		1				1				
居宅支援	3	6			3	6	1	1		2	1	-1			
訪問介護	1	5		1	1	4	1	1		2	1	-1			
保険外通所	17	28	5	4	12	24	4	3	6	7		-2	-4		
小計	32	33	8	5	24	28	7	3	9	8		-2	-5		
合計															

*現員は2020年3月31日 就退職は2019年度内増減